

深谷市所蔵

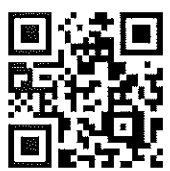
渋沢栄一の生涯とハンセン病

—その事績と功罪をめぐって—



2021年
8月21日(土) 14時〜15時30分

YouTubeライブ配信



大河ドラマ「青天を衝け」の主人公である渋沢栄一は経営者としてだけでなく、福祉の先駆者としての実績が数多くあります。なかでも東京養育院院長を長く務めたことが特筆されますが、養育院で出会ったのがハンセン病患者でした。以後、ハンセン病とのつながりを持ち続けました。渋沢が生涯のなかでどのようにハンセン病と関わったのか、たどっていきます。その関わりには、隔離政策に関与したという側面があることも否定できません。渋沢とハンセン病問題との関係をどう評価するか考えていきます。



【講師略歴】 杉山博昭氏（ノートルダム清心女子大学教授）

1962年生まれ。社会福祉を専門とし、その観点からハンセン病問題の研究にも取り組んでいる。主な著書に『キリスト教ハンセン病救済運動の軌跡』（大学教育出版）、「地方」の実践からみた日本キリスト教社会福祉』（ミネルヴァ書房）、『渋沢栄一に学ぶ福祉の未来』（青弓社）などがある。

YouTubeライブによる無料配信：開催日時に上記QRコードまたは下記URLからアクセスしてご覧ください。

視聴用URL <https://youtu.be/eEehOXuhWkl>

主催

国立ハンセン病資料館 〒189-0002 東京都東村山市青葉町4-1-13
TEL：042-396-2909 FAX：042-396-2981 <http://www.hansen-dis.jp>